

みんなが知らない！
リベリアのこと

ワークシート

1. 「リベリア」の冊子を読んで、興味をもったこと、疑問に思ったことは何でしょうか。

.....

.....

.....

2. リベリアがかかえている課題を解決するために、どういう取り組みをしたらよいと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

.....

.....

.....

3. 将来、リベリアで仕事をするとしたら、あるいは、リベリアの人と一緒に仕事をするとしたら、どんな仕事をしてみたいと思いますか。それはなぜでしょうか。

.....

.....

.....

年 組 氏名

2021年5月1日 初版発行
発行：独立行政法人 国際協力機構(JICA)
本書に関するお問い合わせ：JICAアフリカ部アフリカ第三課
〒102-8012
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
Tel：03-5226-8215(年末年始土日祝日を除く9:30~17:45)
E-mail：6rta3@jica.go.jp
URL：https://www.jica.go.jp/



※国旗は、国連と同じく3:2のサイズで掲載しています。

監修：落合雄彦(龍谷大学 法学部 教授)
編集制作：株式会社 ワン・パブリッシング
編集協力：株式会社WILL
表紙写真：©JICA, ©JICA / LFO, ©Alamy / PPS通信社,
©落合雄彦, ©UN PHOTO, ©Shutterstock.com
イラスト：伊藤美樹
デザイン：chocolate.

国連SDGs HP(<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>)
The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.



みんなが知らない！

リベリア
のこと



現地の中学生に
聞いたよ!



主体的・対話的で
深く学べる
「アクティブ・
ラーニング」
教材

JICAは、日本の政府開発援助(ODA)を行う機関として、開発途上国への開発協力を実施しています。

内戦やエボラウイルス 病など 多くの困難に立ち向かう たくましくリベリア

リベリアは19世紀半ばにアメリカの解放奴隷によって建国された、歴史のある国です。また、ヨーロッパ諸国による植民地支配を経験しなかった、数少ないアフリカの国家の一つでもあります。近年は内戦やエボラウイルス病などによる困難が続いてきましたが、平均年齢19歳の若さあふれる国は、着実に発展してきています。

リベリア共和国
The Republic of Liberia



国旗の由来
アメリカ合衆国の星条旗をモデルとしている。11条の紅白は独立宣言に署名した11人をあらわし、左上の星はアフリカ初の共和国誕生を示す。



首都モンロビアの中心部の様子。リベリアの人口は約505万人で、うち25%がモンロビアとその周辺に集中している。



リベリアの国章。上部に記された言葉は、「THE LOVE OF LIBERTY BROUGHT US HERE(自由への熱愛が我々をここに導いた)」。リベリア(Liberia)という国名も、自由(liberty)に由来する。

- 1847年** 解放奴隷によって建国
- 1960～** 天然資源の開発などにより
- 1970年代** 経済発展
- 1980年** 軍によるクーデターが発生
→ 130年以上続いたアメリコ・ライベリアンによる少数支配が終わる
- 1989～** 内戦で国内は荒れ果てる
- 2003年** アフリカ初の女性大統領誕生
- 2014～** エボラウイルス病流行
- 2015年** 復興・開発へ

長期にわたる内戦で 傷ついていた国土と国民

16世紀以降、ヨーロッパ諸国がアフリカの人々を南北アメリカ大陸に労働力として売る「大西洋奴隷貿易」が盛んになりました。しかし、18世紀終わりごろから、アメリカで奴隷の解放が始まります。1822年、現在のリベリアがある地域に、そうしたアフリカ系の解放奴隷の人々がアメリカから移住してきました。そして1847年、その解放奴隷たちが中心となり、リベリアの独立を宣言。アフリカ大陸初となる、アフリカ系の人々による共和国が誕生しました。

それから、解放奴隷たちはリベリアの領土を広げていきましたが、その土地や周辺には、もともと多様な民族が暮らしていました。現地住民にとって、解放奴隷は、同じアフリカ系の人ではあっても、外国人のような存在でした。

19世紀末になると、アフリカではヨーロッパ諸国による植民地分割が本格化し、リベリアも内陸部へと領土を拡大していきます。しかし、国力が弱いため、一旦は獲得した領土の一部をイギリスやフランスに奪われてしまいます。それでもアメリカの後ろ盾などもあり、独立を保つことができたのです。

その後、「アメリコ・ライベリアン」と呼ばれ

る解放奴隷の子孫たちが権力を握り、大多数の現地住民が差別される状況は長く続きましたが、1980年、軍によるクーデターが起こり、アメリコ・ライベリアンによる少数支配体制は崩れます。ところが、新しく成立した政権も一部の民族集団を優遇する独裁政権となり、民族的な対立が深刻化。そして、1989年には内戦が始まりました。内戦は1996年に一度は終結したものの、2002年に再び激しくなり、14年間で約30万人の死者と、数十万人の難民が発生したのです。給水施設や道路などの生活基盤が崩壊し、国外への人材流出や教育機会の減少が社会に大きな影響を与えました。





女性の平和活動は内戦終結への大きな力となった。2003年に和平協定が結ばれてから、10周年を迎えたことを祝う式典の活気あふれる様子。

内戦終結に働いた女性の力

内戦終結への道すじをつけたのは、リベリアの女性たちによる平和大衆行動でした。女性たちは、毎日プラカードを持って沿道や広場に座りこみ、戦争を終わらせるための運動を行い、ガーナで始まった和平交渉の場にもかけつけました。この運動を主導した一人が、リーマ・ボウイーです。

ねばり強い運動が実り、「大統領の追放」「国連平和維持軍のモンロビア駐留」「暫定政府による民主選挙の実施」など、内戦終結に向かう政治決定を確認する文書が2003年に調印されました。2005年にはエレン・ジョンソン=サーリーフが大統領選挙で当選し、2006年に選挙で選出されたアフリカ初の女性大統領に就任しました。その後、2011年、リベリアの平和と

安定、経済的・社会的発展の促進、女性の地位の向上への貢献が認められ、サーリーフ大統領とボウイーはノーベル平和賞を受賞しました。

内戦終結後、リベリアでは約10%という高い経済成長率が続き、内戦復興が進みます。

ところが、2014年からは「エボラウイルス病」が流行。2016年2月末までに計1万675人が感染し、4809人が死亡するという事態となり、リベリアは再び困難な状況に直面します。経済成長率も年0.5%(2014年)にまで低下しました。2015年にはエボラ終息宣言が出ましたが、医療サービスや人々の健康に大きな影響を残したほか、道路、電気や水道といった生活基盤の整備も停滞してしまいました。



エレン・ジョンソン=サーリーフ

1938年生まれ。アメリカ留学後、財務大臣となるが、クーデターに巻きこまれてケニアへ避難。一時帰国の際に投獄される。解放後は国連開発計画(UNDP)アフリカ局長に。2006年に選挙で選出されたアフリカ初の女性大統領となり、大統領を2期務め、2011年ノーベル平和賞受賞。



リーマ・ボウイー

1972年生まれ。女性の権利・地位向上の実現に力を注ぐ平和活動家。仲間とともに白いTシャツを着て独裁政権に立ち向かい、リベリアの長期内戦を終結へと導く役割を果たした。その功績をたたえられ、ノーベル平和賞のほかにも、ジョン・F・ケネディの「勇気ある人」賞など、多数受賞。

私は戦争によって教えられました。私たちの未来は暴力に「ノー」と言い、平和に「イエス」と言う中にあるということを。 — リーマ・ボウイー

NO to violence and YES to peace!

経済を立て直すため、若い女性たちも力を発揮しています。「仕事が見つからないなら、自分で仕事を始めよう」と考える若い女性たちが増え、リベリアの経済成長に貢献しているのです。

政府や国際機関は、仕事に役立つ技術のトレーニングや、金銭的な支援などにより、女性たちのこうした動きを後押ししています。

困難に屈することなく、たくましく立ち上がるリベリア人。国際機関などの支援を得ながら、ゆっくりと、内戦からの復興・開発に向けて歩んでいます。

【リベリアのかかえる課題】

- ① 農業の生産性が低い。 ▶11ページへ
人口の約7割は農業に従事しているが、生産性が低い。特に、主食である米の生産性の向上が課題。
- ② 経済発展が遅れている。 ▶12・13ページへ
内戦から復興したが、エボラウイルス病で失速。天然資源の活用やインフラ整備などが必要。
- ③ 妊産婦死亡率が高い。 ▶15ページへ
妊産婦死亡率は10万出生当たり725、乳児死亡率は1000出生当たり62と、世界的に見ても高く、妊産婦死亡率の改善が課題。
こうした課題解決のために、日本には何ができるか、考えてみましょう。



リベリアって どんな国?

リベリアの民族語であいさつ!

ハッサの民族語
ズオ
Zuo
ありがとう

ケルの民族語
ナ(ン)ヴィシア
Nanvisia
ありがとう

マンデインゴの民族語
バリカ
Barika
ありがとう

Q 赤道に近いけど、
どんな気候なの?

A 平均気温は27℃
少し蒸し暑い気候です

海岸地帯には熱帯雨林が広がり、内陸は丘陵地、北部は山岳地で、雨季(5~11月)と乾季(12~4月)があります。アフリカの気候の特徴は、赤道直下は熱帯性気候で、赤道から離れるにつれ、乾燥帯気候になります。

くわしくは▶12・13ページ



沿岸部に広がる熱帯雨林。

Q 日常でも英語が
使われているの?

A 公用語は英語ですが、
農村部ではあまり通じません

英語を理解できる人はたくさんいます。庶民の間で使われているのは「リベリア英語」。単語の最後の子音を発音しない特徴があり、ふだん英語を話す人の間でも話が通じにくいといわれています。英語のほかに、それぞれの民族の独自の言葉も使われています。



英語でキャッチフレーズが書かれたポスター。文字を読めない人も多いので、ポスターやチラシにはイラストや写真が多用される。

Q 日本との
共通点って、ある?

A 秋田の「なまはげ」と
同じような文化がある!

お祭りなどにあられる「ギオ・デビル」は、親の言うことをきかない子どもや態度の悪い子どもを、「だめだぞ」とばかりにおどかします。まるで、なまはげのようですね。また、リベリアの子どもは、日本の手遊びの「アルプス一万尺」とよく似た遊びをするそうです。



なまはげとよく似たリベリアの「ギオ・デビル」。

Q 今の大統領は
どんな人なの?

A サッカーのスター選手
として活躍した人

2018年に就任したジョージ・ウェア大統領は、ACミランでも活躍した、もとサッカー選手です。1995年にはバロンドール(欧州年間最優秀選手)とFIFA(国際サッカー連盟)年間最優秀選手賞をダブル受賞。2003年の引退後、祖国のために働こうと、政治の世界に入りました。



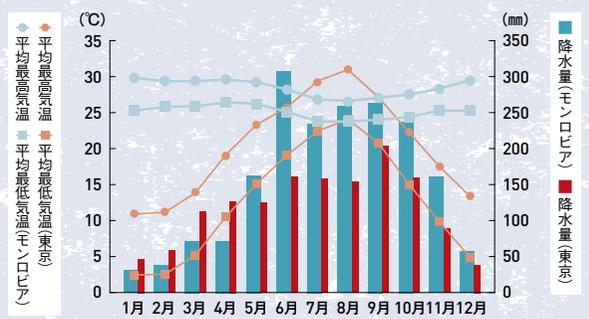
「リベリアの怪人」と呼ばれるほどの名選手だった。

データで見るリベリア

- 基本情報**
- 人口: 505万人(2020年推計値)
[東京都1397万人]
 - 面積: 11.1万km²(日本の本州の約半分)
 - 人口密度: 52.5人/km²(2020年推計値)
[日本346.9人/km²]
 - 首都: モンロビア
 - 言語: 英語(公用語)、そのほか各民族言語
 - 宗教: キリスト教、イスラム教ほか
- ※人口密度は、推計人口とは出典が異なるため、計算すると値が異なる場合がある。

●年間平均気温と降水量(モンロビア)

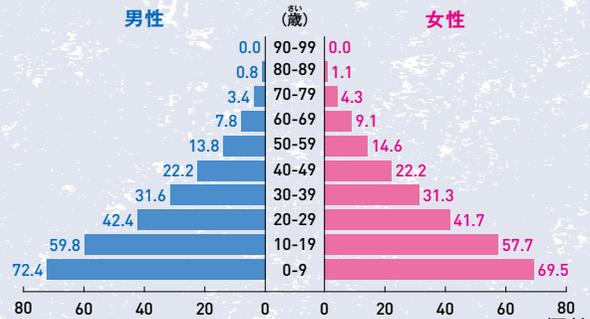
雨季(5~11月)と乾季(12~4月)がありますが、一年を通して、気温はあまり変化しません。



出典: weweather-atlas.com

●人口構成(2020年)

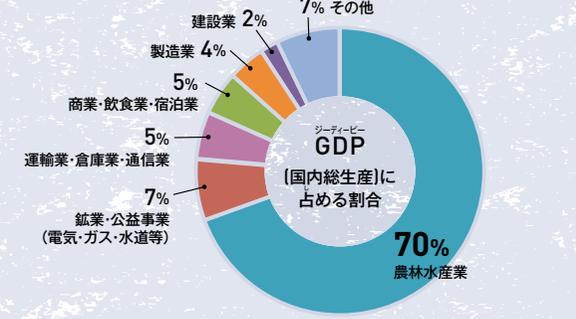
出生率が高く、高齢者の少ない国です。平均寿命は64歳、肺炎、HIV/エイズ、マラリアなどが主な死因です。



出典:「世界人口推計2019年版」(2020年推計値)

●主な産業(2019年)

リベリアは、農業が盛んな国です。人口の約7割が農業に就いています。



出典: 国民経済計算データベース



もっと知りた〜い / リベリア①

教えて！ リベリアの中学生のこと

教えてくれたのは

アルファ・メイジャーさん
エリザベス・クロフォード記念
学校の9年生、15歳。



ぼくたちの学校は、モンロビアで
いちばん伝統のある学校なんだ。

学校制度

	6歳	6年	12歳	3年	15歳	3年	18歳	4年
リベリア	小学校(1~6年生)		中学校(7~9年生)		高等学校(10~12年生)		大学	
日本	小学校		中学校		高等学校		大学	

教えてくれたのは

ハフサトゥ・ディアロさん
エリザベス・クロフォード記念
学校の8年生、14歳。

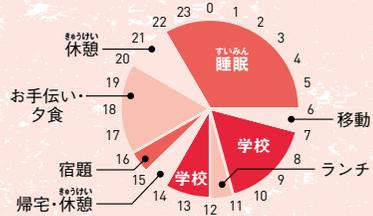


制服は白いシャツと
ブルーのスカート。



Q どんなふうに一日を過ごすの？

A 学校は7時から始まります。月~木曜日までは制服だけど、金曜日は私服で登校していいことになってるんだ。



	月	火	水	木	金
1時間目	英文学	公民	数学	アート/クラブ	宗教
2時間目	地理	アート/クラブ	歴史	フランス語	英文学
3時間目	科学	英語	英文学	英語	宗教
4時間目	数学	数学	公民	数学	英語
5時間目	歴史	科学	地理	科学	数学
6時間目	フランス語	英語	科学	地理	科学

リベリアでは小学校の就学率は85%ですが、中学校では50%、高等学校では30%と、就学率が下がります。地方によっては中学校や高等学校がなく、教師も足りず、ボランティアの人が教えているような状況です。内戦やエボラウイルス病の流行などで経済は極めて悪化し、教育制度もまだ完全には復興していません。

Q どんなスポーツが人気？

A 学生には、サッカーがいちばん人気だよ。

Q 友達とは何をして遊ぶの？

A 学校の休み時間に、クイズやパズルをして遊んでいるよ。

Q お気に入りの食べ物は？

A オートミールのシリアルとクッキーが好き！

Q 将来、何になりたい？

A 将来は、アメリカで、海軍の軍人になりたいんだ。

Q 学校生活のことを教えて！

A 学校には、乗り合いタクシーで行くよ。時間割は50分授業で、6時間目まで。英文学の授業がお気に入り！

	月	火	水	木	金
1時間目	英語	公民	アート/クラブ	フランス語	宗教
2時間目	数学	英文学	英文学	歴史	科学
3時間目	科学	地理	歴史	数学	英語
4時間目	アート/クラブ	宗教	英語	公民	アート/クラブ
5時間目	歴史	科学	数学	英文学	英文学
6時間目	数学	英語	科学	地理	公民

リベリアには、バスなどの公共交通機関がないので、通学には、歩くか乗り合いタクシーを利用します。宗教の時間は、キリスト教を学びます。

リベリアでも、
新型コロナ対策中。



Q どんな名前の人がいるの？

A ハワ、スワっていう友達がいるよ。それらはリベリアでは長女につけられる名前なの。男の子は、トーやディビスって名前が多いかな。

一般的に姓名は【名前+姓】の順で、ミドルネームが入ることもあります。

Q かみがた 髪型を見せて！



A 「コーンロウ」という髪型よ。親や美容室の人にやってもらいます！

Q 将来、何になりたい？

A ファッションデザイナーになりたいな。

もっと知りた〜
リベリア②

豊富な食材!

おいしいものがいっぱい!

魚がおいしい& 野菜もたっぷり食べる

600km近い海岸線をもつリベリアでは、魚をよく食べます。また、内陸の一部は山岳地帯なので、山で採れる食材も豊富。海の幸も山の幸もおいしいところは日本と似ています。魚や肉は、パームオイル(油やしから採れる油)で唐揚げやオイル煮にして食べるのが定番です。



©Alamy / PPS通信社

ロブスターや魚など、魚介類が安く手に入り、おいしい。

米養価も高い!

©Dolly MJ / Shutterstock.com



キャッサバの葉を炒め煮にしたもの。ご飯に添えて食べる。

また、野菜も豊富です。日本でも見られる一般的な野菜のほか、さつま芋やキャッサバの葉も食べます。こちらも、パームオイルを使って炒めたり、煮込んだりして食べる人が多いです。

【リベリアの特産品】

ギニアしょうが

リベリアの市場ではさまざまなスパイスが売られています。なかでも有名なのが、リベリアに自生する「ギニアしょうが」。こしょうに似た、びりっとしたからさのある種子です。



©Cabeca de Marmore / Shutterstock.com

パームオイル

キャッサバと同様に、古くからリベリア料理によく使われているのがパームオイル。薄い赤い色が特徴的で、今もよく使われています。



©tristan fan / Shutterstock.com

ハバネロ

激から食材として日本でも知られているハバネロ。リベリアをはじめとする西アフリカでは、ハバネロを使ったからい味つけの料理が多い。



©milart / Shutterstock.com

JICAの協力

小規模な農家の生産性UP!

リベリアでは米が主食となりつつありますが、その消費の6割を輸入に頼っています。リベリア政府は、雇用促進や食料安全保障(国民が、将来にわたって良質な食料を合理的な価格で入手できるようにすること)の点からも、米の生産性を上げることを重視しています。

JICAでは、リベリア政府と協力して、小規模な農家が米の生産性を上げることができるような指導を始めました。現地に適した稲作技術の開発と普及のモデルづくりに取り組み、成果を上げています。



面積当たりの収穫量を上げるのが課題。



©JICA / LFO

SUPPORT OF JICA

主食の一つは、キャッサバ

主食としてよく食べられているのは、「フフ」や「ダムボーイ」。フフは、西アフリカの国々の伝統的主食で、キャッサバなどの粉を練り上げたもの。もちもちした食感で、手でちぎりながら、濃厚な煮込み料理につけて食べます。ダムボーイは、キャッサバをゆでてつぶした、マッシュポテトのようなものです。

キャッサバは、気候条件や土壌条件が厳しくても比較的簡単に生産できる作物ですが、有毒成分「シアン化合物」が含まれているので、食べるためには毒抜き処理が不可欠です。



主食のダムボーイ(上)とキャッサバ(右)。ヤム芋(山芋の仲間)やとうもろこし、雑穀などの粉でつくこともあります。

©Julio Ricco / Shutterstock.com



©Edwin Remsberg / ゲットイイイメージズ

米の種類は、日本とは違う長粒米。水分が少なく、ぱらっと仕上がります。スーパーマーケットでは右上の写真のように包装されて売られていますが、市場では量り売り。

年間120kg以上の米を食べる!

リベリア人は日本と同じで、米が大好きです。キャッサバより高価ですが、調理に手間がかからないのも好まれる理由の一つ。

リベリアの米の年間消費量は増えていて、今では一人当たり120kg以上! 日本は一人当たり約53kgなので、約2倍以上の米が食べられていることとなります。リベリアでも稲作をしていますが、生産効率が悪く、輸入米が多いのが現状です。自給率を上げていくことが求められています。



日本とリベリアの深い関係



日本式のおじぎから始まった大会。国際柔道連盟の活動の一つ。

柔道、剣道、空手、合気道など、日本の武道は、アフリカ各地で広がりを見せています。

2021年2月26日から3日間、リベリアを含むシエラレオネ、ギニア3国による柔道キャンプが実施されました。参加者は全員で25人ほど、競技人口はまだまだ少ないものの、小学生から大人まで幅広い層の人々が練習に励みました。こうした柔道を通じた文化交流では、実技だけではなく、礼節を重んじる文化についても伝えられます。

柔道を学ぶ人の中には、ポリオ(脊髄性小児麻痺)の後遺症や、内戦や事故でけがをした人もいます。転んだときにけがを少なくする受け身を体得し、自分の身を守るのを目的に柔道を習う人もいます。

日本の企業と深いつながり!

ゴム農園発、自動車のタイヤから手術まで!

日本のタイヤメーカーであるブリヂストンの子会社ブリヂストン ファイアストーン アメリカスが、リベリアに世界最大規模の天然ゴム農園をもっています。ブリヂストングループでは、ゴム農園の従業員やその家族に教育の機会や、さまざまな医療・厚生を提供しています。現在、医療専門家チームと共同で、リベリアの人々に無償手術を行う社会貢献活動に取り



写真提供/ブリヂストン

組んでおり、これまでに1000件を超える手術を無償提供しました。

日本の油圧ショベルで職業訓練!

リベリア初の職業訓練校の中にある、日本重機オペレーター専門学校は、日本の資金協力で建設された施設。建設機械メーカーのコマツが寄付した油圧ショベルやブルドーザーで、若者たちが訓練をしています。リベリアには職に就けない若者が多くいますが、重機操作の技術があれば、建設業、鉱業、農業などの分野で働くことができます。



写真提供/コマツ

油圧ショベルなどの操作について、実地トレーニングを受ける若者たち。



JICAの協力

リベリアに「ジャパン・フリーウェイ」

首都モンロビアでは、外国から帰ってきた難民や、地方からの避難民の流入によって人口が急増し、150万~200万人が住んでいるといわれています。車両の数も増え、市内では渋滞が慢性化しています。首都圏の主要道路は2本。その1本、全長13.2kmのソマリアドライブは、片側1車線ずつで舗装も老朽化し、つねに交通渋滞が発生していました。JICAはこの道を片側2車線へと広げて、道にかかる2つの橋をかけかえ、改修しました。信号・街路灯なども整備し、2021年に完成予定です。リベリア政府はこの道を、日本への謝意を込めて「ジャパン・フリーウェイ」と改名しました。



ジャパン・フリーウェイ(ソマリアドライブ)。改修前(左)から見違えるような姿に!(右)。



© JICA

発電機のメンテナンス能力を強化!

リベリアでは内戦の間に、発電施設がほぼ完全に破壊されました。電力公社の発電能力は低く、供給が安定していないうえに、電気料金も高いため、企業やホテルなどでは自前の発電機を利用していました。日本政府は首都モンロビア周辺に電力を供給する発電所設置に協力。さらにJICAは、現地スタッフに対して、維持管理の知識・技術や経験の習得を支援する「ディーゼル発電機メンテナンス能力強化プロジェクト」を行っています。エンジニアを育てることは、安定的な電力供給のうえでとても重要なポイントです。



ディーゼル発電機(左)と発電棟(右)。



© JICA

SUPPORT OF JICA

森は地球のエアコン! 「保護活動家」を育てるプロジェクト

日本の空調機メーカーのダイキンは、「空気をはぐくむ森プロジェクト」として、リベリアで森林保全活動をしています。

首都モンロビアから北東に約300kmのところにある東ンバ自然保護区では、絶滅危惧種のウエスタン・チンパンジーをはじめとする多数の固有種が生息。ここは、アフリカで最も生物多様性に富む重要な地域です。ダイキンは、この森林を守りながら地元住民が食料を安定的に確保できるよう、効率的な稲作や野菜の育て方など、必要な技術の訓練を提供しています。また、決まりを守らない伐採や狩猟などから森林を守る「最前線の保護活動家」として地元住民を育てることも行っています。



森林保護活動の説明を受ける人々。

写真提供/ダイキン工業

どう乗り越えてきたのか

エボラウイルス病の封じこめ作戦!

内戦終結後、安定して経済も成長しつつあったリベリアですが、2014年、エボラウイルス病の流行におそわれました。最初に流行が確認されたギニアから、患者や感染者が移動することで、隣接するリベリアとシエラレオネにも広がったのです。

当時、サーリーフ大統領は国境封鎖や国家非常事態宣言で、封じこめ対策を開始。感染



エボラとの戦いを支援するため、国連の担当官も視察に訪れた。

が疑われる人を早期に検査し、感染が確定すれば隔離・治療を行い、接触者も検査して追跡を徹底することで感染が広がらないように努めました。感染症を封じこめるには、多くの人手が必要で、多くの医療従事者がエボラ対策に動員されたのです。

医療資格をもたない人もトレーニングを受け、住民に対してウイルス感染予防について教えました。特に伝統的な葬儀で、遺体を家族がていねいに清め吊うときに感染が起りやすかったため、エボラウイルス病で亡くなった人の葬儀のやり方を変える必要がありました。住民は泣く泣く、家族などの遺体を感染予防の専門チームに任せなければなりません。こうした経験は、もちろん、新型コロナウイルスに対する対応にも生かされています。



【リベリアの医療現場で役立った、JICAで学んだ5S】

リベリアでは2015年7月、エボラ対応に当たった医師が表彰されました。その医師は、2010年に東京でのJICA研修に参加した経験をもちます。彼は地域のリーダーとして、国際支援を待たずに隔離病棟をつくり、患者と向き合ってきました。

彼らはJICAで学んだ「5S」[整理、整頓、清掃、清潔、しつけ]を、エボラウイルス病対応で、おおいに活用しました。5Sは、日本の製造業の現場で、職場

環境をよくしたり、業務の効率的に行えるようにしたりするときの合言葉で、医療分野でも使われる標語です。

そのほか、日本での経験は、不足している医療関係者の人材育成にも生かされています。JICAはその後も継続して医療関係者を支え、物資を届けるバイクなどの機材提供や、地域啓発活動を行っています。

マラリアとHIV/エイズの脅威

感染症であるエボラウイルス病の流行は抑えることができましたが、慢性的に見られるマラリアも大きな問題です。

マラリア原虫という寄生虫をもつ蚊に刺されることによって、人に感染し、治療せずに重症化した場合、発症後1週間程度で亡くなることもあります。世界で年間2億人以上が発症

JICAの協力 医療分野での2つの協力

「日本・リベリア友好母子病院」の建設と、内戦からの復旧・機能の強化

リベリアは、女性が妊娠・出産の際に亡くなる割合が、世界でも最も高い国の一つです。1982年、日本の協力で「日本・リベリア友好母子病院」が建設されましたが、内戦による破壊や老朽化により、機能を十分に果たせなくなっていました。

内戦終了後、日本は協力を再開。施設補修や機材の供与を行うとともに、研修などを通じて職員の能力向上を実現させました。70人以上のリベリア人が日本などで母子保健や院内感染予防、病院管理といった分野の研修を受け、日本からも専門家が派遣されました。

日本・リベリア友好母子病院は、現在も国内でも高度な医療を行う周産期医療施設(産科と新生児科を組み合わせた施設)として機能しています。



母子病院の建設で、衛生的な環境で出産できるようになった。

し、約43万人が亡くなっているといわれています。リベリアでも、毎年約126万人がマラリアにかかり、幼い子どもを中心に死者が多数発生しています。

また、深刻な問題とされるもう一つの病気がHIV/エイズです。年間の死亡者は約2000人を超え、母子感染によって、1歳になる前に死亡するケースも多く見られます。こうした母子の命を守る取り組みはリベリアの課題です。

保健医療サービスに関わる人々のスキルアップ

長らく内戦は、リベリアの保健医療に関する制度やしきみを壊してしまいました。住民は必要ときに必要なケアを受けることができません。たとえば、きれいな水を使うこと、予防接種、蚊の駆除などに対する教育や、食生活の指導などのサービスが受けられなくなっているのです。

リベリアの乳児死亡率は、1000出生当たり62にもなります(日本は2)。衛生的な環境をつくり、病院や保健センターの保健指導を母親が受けられるようにすることが大切です。

JICAでは地域住民が必要ときに保健医療サービスを利用できるように、地方の保健行政のしくみづくりに取り組み、それが永続的に機能できるように協力しています。



保健サービス強化プロジェクトの一環として行われる、保健局員へのグループワーク研修。